



明石市立二見中学校
第3学年(72回生)学年通信
2019(令和元)年 9月18日
第209号

体育大会が終わりました

雲一つ無い晴天の下行われた第72回体育大会が終わりました。青学年らしい明るさと元気さにあふれたとても楽しい体育大会でした。特にマスゲームは、今までで一番いい顔をしていましたよ。キラキラと輝いていて、見てると楽しさが伝わってきました。かけ声には頑張ろうとしているみんなの心を感じました。もう少し見ていたいなと思いました。

今回の体育大会で、応援してくれる仲間がいることの有り難さ、みんなと一緒に何かを作り上げることの楽しさ、協力するとはどういうことなのか、などたくさんのことを学べたのではないのでしょうか。

人にはそれぞれ個性があって、考え方や感じ方が異なります。また、できること、できないことにも違いがあります。その違いを認め合うことを学んできました。人は一人で生きていけないゆえ、支え合うことの大切さも学んできました。今回の体育大会の取り組みを通して、心の温まる素敵な場面がたくさんありました。誰かのために一生懸命頑張っている姿をたくさん目にしました。うまくできないからと黙々と練習している姿もありました。

さて、自分自身はどうでしたか。クラスで、学年で何か一つのことに取り組むときには、ちっぽけかもしれないけど自分の力も必要なのです。自分の力を必要とされているならば、自分がやりたくなくても、苦手であっても、一生懸命協力することのできる人になっていたでしょうか。一つの大きな行事を終えた今、自分自身に問いかけてみてください。

中学校生活もあと6ヶ月です。社会に出るまでに人としてまだまだ学ぶべきことはたくさんあります。今日からの普段の生活1日1日を大切に、自分のやらないといけないことをしっかりやっていきましょう。「今を大切に、日々成長」自分の可能性を信じて！

